

校訓	盡己	令和7年度学校通信 「松中だより」 第5号	発行日	令和7年6月9日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成育成へ地域・家庭とのつながりによるレジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【いじめ防止強化週間 おもいやりWeek】

6月2日（月）から6日（金）の一週間、生徒会本部が おもいやりWeek を実施しました。

＜目的＞一人一人が周囲のことを思いやる行動を意識する一週間にし、これからの中学校生活の中に活かす。

＜内容＞1日ごとにテーマを設定し、全校生徒に周知する。

全員が同じテーマを意識して過ごすことで人間関係を深め、いじめの未然防止につなげる。

月…自分からあいさつをする日

火…ポジティブなことをたくさんいう日

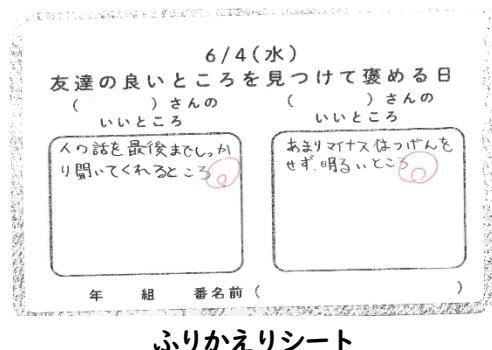
水…友達の良いところを見つけて褒める日

木…率先して人を助ける日

金…ありがとうをたくさんいう日

＜流れ＞・毎朝、生徒会役員が放送で今日のテーマを知らせる。

- ・毎朝、校舎内に「○○の日」を知らせるポスターを掲示。
- ・終礼時、ふりかえりシートを記入。
- ・最終日にアンケート→松中タイムズにて報告



ポジティブ心理学という、人々の幸福や良好な精神状態を科学的に研究する心理学の分野があります。その研究によるとポジティブな考え方や行動はストレスを軽減したり、人間関係を改善したり、問題解決力を向上させる効果があるそうです。期間は終了しましたが、みんなが安心で楽しい学校生活を送れるよう、5つのテーマを継続して意識してもらいたいと思います。生徒会のみなさん、大変良い取り組みをしていただきました。ありがとうございました。

【長嶋茂雄さん】

6月3日、プロ野球読売巨人軍の終身名誉監督の長嶋茂雄さんがお亡くなりになりました。日本中に衝撃がはしり、「ひとつの時代が終わった。」というコメントをよく見かけました。私自身熱烈な野球ファン、巨人ファンではありません。しかし、自分でも「えっ！」と思うくらい衝撃と驚きを感じました。

人間なのでいつかはこういう日が来ることは頭ではわかっているのですが、「長嶋さんって逝ってしまうの？ いつまでも生きているんじゃないの？」と、長嶋さんを神様か何かのように感じていたのだと思います。

長嶋さんの活躍は新聞やテレビで取り上げられることも多く、はつらつとしたプレー、前向きなインタビューにたくさん触れてきました。知らず知らずのうちに「夢と希望と元気」をもらっていたのだと思います。小学生の時、現役引退セレモニーのテレビ中継も見ていて、そのときのあいさつもはっきり覚えています。「かっこいい！」と思いました。後にも先にもこれだけ多くの人に「夢と希望と元気」を与え、記憶に残る野球選手はいないと思います。

多くの著名人が長嶋さんにかけてもらった言葉や、物事に向かう姿勢に「元気をもらった」とコメントしています。ほとんどがその方が逆境にあり、苦しいときのことです。あらためて、その優しさにも気づかされます。

これから時代は今までの「あたりまえ」が通用しない「難しい時代」と言われています。そんな中でも、長嶋さんのように・・・とまではとても言えませんが、ひとりでも多くの生徒が、明日に向けての「夢と希望と元気」を持てるような大人の姿をみせていくけるよう頑張ろうと思いました。

長嶋さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

